

戦争と家族

3館による
合同開催

次世代の語り部講話会



訪日調査で再会を果たした残留孤児と肉親 ©撮影:浜口 タカシ



首都圏中国帰国者支援・交流センター

しょうけい館

昭和館

開場: 12:30

2023年10月15日(日) 13:00~15:15

講話
内容

①中国残留邦人と家族 ②戦傷病者と家族 ③家族との別れ

申込不要
参加無料

会場

昭和館 3階研修室
定員 150名

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
アクセス情報 地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・新宿線 出口4)
有料駐車場有(30分200円・普通車のみ可、ワゴン車不可)



首都圏中国帰国者
支援・交流センター





次世代の語り部について

首都圏中国帰国者支援・交流センター、しょうけい館、昭和館の3館では戦中・戦後の体験や過酷な生活状況を後世へ語り継ぐ、語り部事業をおこなっています。「次世代の語り部」は戦後生まれて戦争の体験はありませんが、体験者の記憶を次世代へ継承すべく活動をしています。

講話会について

本講話会では、各々の施設で活動している語り部が集まり、講話をおこないます。今回はテーマを「家族」として、戦争に影響を受けた個人とその家族の歴史を語ります。語り部への質疑応答時間も設けております。ぜひ、この機会にお話をきいてみませんか。

首都圏中国帰国者支援・交流センター

① 中国残留邦人と家族

首都圏中国帰国者支援・交流センターでは、中国・樺太残留邦人の学習支援や生活相談に当たると共に、高齢化した帰国者の歴史の記憶をご本人から聞き取り、語り継ぐことを行っています。

今回の講話会では、語り部が長年知己を得てきた、ある中国残留婦人の人生を写真などの資料を交えながら語ります。

※お問合せ：首都圏中国帰国者支援・交流センター
TEL：03-5807-3171 (9:30～17:45 月祝休館)
Email：kataribe@sien-center.or.jp

13:05～13:50

しょうけい館

② 戦傷病者と家族

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦について、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する施設です。

今回の講話は「希望を失ったときに届いた一通の手紙」です。戦傷病者が家族や周囲の支えによってさまざまな困難を乗り越えてきた姿を、当時の社会状況を織り交ぜながら語ります。

※お問合せ：しょうけい館事務局
TEL：03-3234-7821
(10:00～17:30 月休館、祝日または振替休日の場合はその翌日)
Email：yoyaku@shokeikan.go.jp

13:50～14:25

— 休憩(10分間) —

アクセス情報

・地下鉄九段下駅から徒歩1分
(東西線・半蔵門線・新宿線 出口4)



昭和館3階研修室

昭和館

③ 家族との別れ

昭和館は、戦中・戦後の国民生活の労苦を伝える施設です。資料の展示をはじめ、関連図書、写真、映像資料等を収集し、提供しています。

今回の講話は「戦災孤児たちの願い～もしも魔法が使えたら～」です。空襲で両親を失った戦災孤児達の苦しい生活と家族への思い等を、戦災孤児だった星野光世さんの描いた絵とともに伝えます。

※お問合せ：昭和館 語り部事業担当
TEL：03-3222-2574
(10:00～17:30 月休館、祝日または振替休日の場合はその翌日)
Email：kataribe@showakan.go.jp

14:35～15:15